

木通 信もれ日

Komorebi Tsushin

第32号

平成20年4月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手波字寺窪7
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
つきだて交流館もりもり TEL024(571)1777 FAX024(571)1787
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://www.odehime.or.jp/hanakobo/>
つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

花のアルバム

アルバムの
32ページ

サンシュユ

春
気持ちのいい青い空
流れる雲
やわらかな光
のどかな風景が
教えてくれたことは
急がないことの
大切さ



サンシュユの花 花言葉：忍耐
菅野房美さん宅の花木 伊達市月館町

黄色は春を知らせる信号です。マンサク、サンシュユ、ミズキ：落葉樹の芽立ちに先立って咲く花にはなぜか黄色が多く、早春の庭を明るく彩ります。中でもサンシュユは春黄金花の別名があるように、色鮮やかな小さな花を枝いっぱいに咲かせ、見る人の心にも春を届けてくれる花木です。サンシュユはミズキ科の落葉小高木。江戸時代中期に、原産国である朝鮮半島から薬用として日本に渡来しました。学名の *Officialis* とは「薬効のある」という意味です。



春の訪れ：サンシュユの蕾

秋 珊瑚の薬効

サンシュユを漢字で書くと山茱萸。「茱萸」はケミのことで秋に1.5cmほどの楕円形の赤い実をつけます。光沢のある真紅の実はその姿から秋珊瑚とも呼ばれ、この実に多くの薬効が含まれています。

実は甘酸っぱく食べられますがあまり美味しくはありません。種を除き、果肉を乾燥させたものが漢方酒や漢方薬として利用され、滋養強壮、疲労回復、冷え性、不眠症、健胃などに効果があります。「庭のサンシュユの木」と歌われる

のは宮崎民謡の俣揚節。源平時代の悲恋歌だそうですが、その時代背景からこちらで歌われているのは、ミカン科・山椒の木のようなです。

エ コライフのすすめ

交流館もりもりの体験プログラムに「布ぞうりづくり」が新しく登場！タンスの中に眠っている布を再利用して世界に二つだけの、オリジナルぞうりを作ります。スタッフが名づけた別名は「エコ」ひいきなぞうり…色や柄の組み合わせで、さまざまなイメージに出来上がり、並べて見ているだけでもワクワクするから不思議。眠りから覚めた布たちがおしゃべりをしているかのような華やかさと、古布の持つ落ち着きが微妙にマッチしてステキです。

早速、箆笥の引き出しを開け材料を探してみましょう。「エコ」ひいきな履物で、足裏から健康増進です。※ふくしまを愛する大人の情報誌「モンモ」春号、特集「体験の宿に泊まる」につきだて花工房が掲載され、布ぞうりづくりが紹介されています。



次回の布ぞうりづくり体験は5月25日(日) 参加費800円 13：30～15：30ご予約ください

ほのぼのの 春の日

足もとの野花に
小さな春を
木々の芽吹きに
始まりの春を
あふれる笑顔に
心の春を 見つけました
つぎだて花工房
ほのぼの 春の日

キッズスマイル
また、お泊りに来てね。



福島市にお住まいの大場紀子さん(左)と
会津若松市からお越しくださった妹の白井和子さん(右)

「昔はぜんぜん似ていなかったのに最近はずく姿までそっくりって、子供たちに言われるんですよ。」と姉の紀子さん。年に2回開催される会席企画のご常連さまで、この日は和子さんのお誕生日祝いも兼ねながら、お料理をお楽しみくださいました。今日のハンドルキーパーは愛妻家のご主人。優しいお心づかいにスタッフの心も温まりました。

※自動車で仲間と飲食店などに行く場合にも、お酒を飲まないで仲間を家まで送り届ける人を「ハンドルキーパー」といいます。



霊山町 菅野様とご親族の皆さま

おばあちゃんの7回忌で埼玉県や静岡県から、日頃なかなか会えないみんなが集まりました。お墓参りではそれぞれの元気な姿を報告し、つぎだて花工房へ到着。3世代が仲良く集う姿を、おばあちゃん喜んで見守ってくれているでしょう。



月館町 千葉様と同級生

「今は無き「県立保育専門学院」のミニミニ同級会。保育士、介護福祉士と、第一線で頑張っている仲間です。みんな自然に囲まれた花工房が大好き。また、花工房での再会を約束して解散しました。」と、地元在住の千葉さんが話してくださいました。

それぞれの時代



昭和11年度卒同志会の皆さま

3年前から毎年恒例となった同級会。今年も元気にお会いできて嬉しく思います。今年85歳になる月館町在住の高木武巳さんは戦地体験者。生きて帰れるとは思っていなかったと語ってくださいました。これからも健康で長生きして下さい。

※昭和20年の日本人男性の平均寿命は23.9歳。そして5月3日は憲法記念日。



梁川町 飯沼様を囲んで

3月で退職された飯沼さんを囲んで、「お疲れさま会」が行なわれました。転属で現在の勤務先はバラバラでも、すぐに話がまとまる仲の良いグループだそうです。春は出会いと別れが交差する季節。新たに環境が変わっても、その絆がこれからもずっと続いてゆきますように。



伊達市消防団 月館支団
第二分団 第一部 第一班の皆さま

● 初午火災予防活動、お疲れさまでした。納車され
たばかりの新しい消防自動車を記念に1枚。
知る119 伊達市内を走るサイレンの音が2種類
に区分されているのをご存知でしたか？
● 火災出動時は↓サイレンと警鐘
(ウーウーカンカンの繰り返し)
● 火災以外の出動は↑サイレンのみ
(ウーウーの繰り返し)です。

湯浅班長と団員11名で
地域の安全を守ります！

ご案内

- 宿泊料金…1泊2食 ¥6,500～税込(一部屋にお入りいただく人数によって料金が変わります)
- 宿泊部屋…和4室、洋2室収容32名
- チェックIN・OUT…チェックイン16時・アウト10時
- 休館日…第1・3火曜日
- 宿泊備品…浴衣・バスタオル・タオル・歯ブラシ
- 施設…会議室・大広間・ラウンジ
- 駐車場…40台
- 交流館もりもり(田舎体験・特産品の直売)
- 日帰り入浴…10時～18時(大人300円小学生150円)

春の日のぼかぼか陽気に誘われて

春の日のぼかぼか陽気に誘われて
ふるさとの小路をのんびりと歩こう
おにぎり持って 水筒持って
さあ 出発！
青空を見上げて大きく深呼吸
おいしい空気のどかな光り
春の日の香り

連載
13回目



【布川】 布山下神山磨崖仏

【月籠】 赤城神社

国道399号を東進し、「三滝ヶ入・磨崖仏」の看板に従って道路右手の橋を渡り、川沿いを進むと杉の樹蔭の大岩に刻まれた磨崖仏が現れます。風化が激しく、確認が困難ですが、目を凝らして見てください。三十三体の観音像に結願の一体を加えた三十四体が刻まれています。
月籠町文化財指定。



鳥居のすぐ後にある門は、伊勢神宮遷宮の際に解体したものをそっくりもらい受けてきて、組み立てたものです。神社の脇にある田んぼでは、伊勢神宮に納める「イセヒカリ」という米を作っています。春にはこの田んぼでお田植え祭りが行われます。
今年のお田植え祭は5月25日(日)の予定。

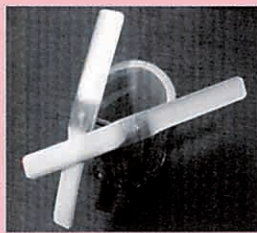


4月は始まりの季節 交流館もりもりも 新学期がスタート

4月～8月開催の
おすすめプログラムをご紹介します

◆団体様向けプログラム

- もりもりピザ焼き
参加費2,500円(1枚は2～3名分。4枚以上から受付)
生地から作ります。畑から収穫したお野菜をトッピングし、出来上がったオリジナルピザをアツアツでお召し上がり下さい。特製オープンにも歓喜の声が!
- 竹の流しそうめん・パンブークッキング
共に参加費:大人1,500円
小学生1,000円(10名～50名様)
どちらも竹の伐り出し作業からスタート。その竹でそうめんを流す種や竹ご飯を炊くごう、自分の器を作ります。満腹感も保証付!



交流館もりもり
TEL024-571-1777

◆少人数様向けプログラム

- そうり作り(ワラまたは布)
参加費800円(10名～15名様)
所要時間約2時間
ワラはご準備いたします。布はお好みのイメージでご持参下さい
- うどん打ち
参加費大人1,200円 小学生600円(10名～15名様) 所要時間約2時間
地元産の無漂白小麦「絹舌麦」でこしの強いうどん作りに挑戦!
- ◆継続プログラム(毎月1回 月曜日開催)
●絵手紙教室
講師:和田恵秀先生(切絵画家)
受講料1回ごとに1,000円
- ハーブ教室
講師:瀧田勉先生(ハーブとスローライフの研究者)
受講料1回ごとに1,800円
- ◆毎日開催個人様向けプログラム
体験料500円 所要時間約30分
受付時間9時～16時
- 森のクラフト
木の枝やドングリに新たな命を吹き込んでオリジナル作品を製作
- パンブークラフト
竹とんぼ、ウグイス笛などの玩具や食器、花器などを製作

近隣の桜

駒ザクラ (川俣町)

駒桜の今年の開花予想は4月上旬頃。淡い紅色の花が咲き春爛漫です。同時に咲き出すのがカタクリの花。その可憐な花は巨木に見守られているかのよう。随所に見られまさに競演です。地元愛護会の皆さんが愛情注ぎ桜を見守り続け、近年で整備も充実しました。

月宮神社登山口から女神山に登り、平登山口へ下山、のどかな里山の原風景を楽しみながらのんびり歩き、駒桜を目指すコースもおすすめです。

- ◆所在地
伊達郡川俣町秋山字小長石
- ◆川俣町指定天然記念物・福島県緑の文化財指定
- ◆品名 エドヒガンザクラ
- ◆樹齢 400年以上 樹高約19m、根回り1.1mの巨木



旬のイチゴを* バルサミコソースで楽しむ

こんにちは! 花工房調理部の今宮です。今回はバルサミコ酢をご家庭で楽しんでいただくご提案です。
バルサミコ酢はイタリア原産の醸造酢。原料はブドウ果汁にワインを加えたもので、暗褐色で豊潤な香りが特徴。加熱して酸をとばすと甘味がでるので、肉、魚料理のソースによくあいます。休日の午後、ちょっと気分を変えて、ビタミンたっぷりのイチゴに濃厚なバルサミコソース。しっかりからめてからお楽しみを!

(材料:4人分) イチゴ...10個 バルサミコ酢...30cc 砂糖...60g
バニラアイス・セルフィーユ...適量
(作り方) 1. 鍋にバルサミコ酢を入れ火にかけ、砂糖が溶けるまで混ぜる 2. ヘタを落し半分に切ったイチゴと、バニラアイスに血に盛り付け、1のソースをかけ、セルフィーユを飾る。



今宮秀章の
季節のひと品

- 花工房ライブラリー
 - 恋文(著:高村光太郎・智恵子)
 - 子供につたえる日本国憲法(著:井上ひさし 絵:いわさきちひろ)
- 花工房BGM
 - E・サティ: ジムノペディ、グノシエンヌ
 - J・S・バッハ: パルティータ BWV830

楽・百人一首 第61巻

いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にほひぬるかな 伊勢大輔
紫式部、和泉式部らとともに中宮彰子に仕え多くの秀歌を残す。奈良から届けられた八重桜を一条天皇に取次ぐ際に詠まれた歌。「奈良の八重桜」は移植された当時のまま、今も東大寺の知恩院にあり普通の桜より花弁が大きく豊かに重なり合って咲く。



ふるさと風のたより

春は出会いの季節です。人との出会い、モノとの出会い、風景との出会い。今回は前号で紹介した三森修一さんの作品に出会いその門をたたいたという組み木作家を訪ねます

組み木作家

「anzu to sumomo」 齋藤 麻美さん

今日も自宅のアトリエで「楽しい！」をイメージしながら作品を作り続けている若手組み木作家がいます。伊達市月館町在住、齋藤麻美さん。小さい頃から描くこと、作るのが好きだった齋藤さんは、自分のイメージを手作りの作品にするのが長年の夢でした。何をやっても納得が行かず試行錯誤の毎日。ある日、お父さんがビンゴゲームの景品でもらってきた個の組み木が、齋藤さんの人生を変えました。

「空とぶくじら三森修一さんの作品でした。この仕事、おもしろそうって思ったんです。三森さんは父の同級生、早速門をたたきました。この私が途中で投げ出さず、組み木への興味を伸ばせてくれたのは、へたな作品にも良いところを見つけて、優しく褒めてくれた先生のおかげです。」と、齋藤さんは感謝の気持ちをお話します。作品の主は、どうぶつ組み木や木の雉

Profile



齋藤麻美さん
伊達市月館町在住

2001年5月組み木工房「空とぶくじら」にて三森修一氏に組み木製作を学ぶ。2003年an zu to sumomoとして活動を始める。以来数々のミュージアムに出品。ワークショップを行なう。

1975年生まれ O型
作品のオーダー、お問い合わせなどはホームページより

問い合わせ

an zu to sumomo
福島県伊達市月館町
HP: <http://an zu-to-sumomo.chips.jp/>
E-mail: an zu-to-sumomo@zs.chips.jp



「いちばん最初に作品を買ってくださった方をしっかり覚えていて、そのときの500円玉は私のお守り。今でも大切に持っています」と嬉しそうに教えてくれました。

手にした瞬間、クスッと笑みがこぼれて、心がほんわかする。an zu to sumomoの組み木には愉快で、どこか懐かし、優しいエッセンスがたっぷり含まれています。

2008年は原点に戻り自分を見つめ直す年。しっかりと実力を付けて大阪などにも進出したいと話す齋藤さん。将来は組み木をベースとした絵本製作も手がけてゆきたいと夢が広がります、今後の活躍が楽しみです。



名前の由来…「あんずとすもも」漢字で書くと杏と李。杏…木がお喋りしているみたい、李…木の子どもみたい、そんなわくわくゆかいで優しい組み木を作りたくて名付けました。

お客様の声

●家庭的な雰囲気でおもてなしに大変満足しております。今回は母の周忌で宿泊させていただきましたが、次回はプライベートで是非是非再訪したいと思っております。
(千葉県 菅野やす子様)

●四季折々に景観を変える花工房からの風景ですが、新緑の季節はキラキラと輝くその美しさから元気をいただきました。是非お出かけ下さい。

●昨年暮れに初孫の食い初めておいしい食事をいただきました。売店でもてまかわいい組み木を目にし、買い求めました。いつまで見てもあきないデザインと価格が気に入っています。イベントに参加して自分のオリジナル作品も作ってみたいと思っています。木もれ日通信も内容盛りだくさんでいつも楽しみにしています。コンニャク作り参加しました。月館の元気を応援しています。

(伊達市 曳地純子様)
花月館町に2人の組み木作家がいることをうれしく思っています。木の持つぬくもりから生まれるあたたかい作品、是非自分でも作ってみたい。三森修一さんの組み木教室が6月7日に予定されています。

●ぼたもち作りの後、のんびりゆつくり過ごしたくて花工房を利用しました。毎月HP教室にも参加しています。東京出身の主人は自然いっぱいの花工房に大満足！格安でいろいろな体験ができる花工房。今日はぼたもちでお腹いっぱいでしたが、次回は主人が好きな土地の料理を楽しみに宿泊したいと思っております。
(福島市 安部広美様)

花、ふるさととの歳時記に合わせ、新年度も体験プログラム満載です。里山で暮らす素朴な豊かさ、手間を掛けることで生まれる温かさをお伝えできればスタッフも幸せ。これからも、一緒に楽しんでゆきましょー！



月館町 渡辺ミヤ子 さん



霊山町 菅野玲子 さん

木もれび32号プレゼント

an zu to sumomo 雑貨を5名様プレゼント

官製はがきに住所、氏名、年齢と木もれ日通信32号で印象に残った記事及び感想等、また、「an zu to sumomo」の齋藤さんへ、激励の一言などを記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだてて花工房までお送りください。平成20年5月31日の消印まで有効です。

※記入した個人情報はつきだてて花工房が責任をもって管理・保持し、当館の案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させていただきます。

インフォメーション

【梁川】4月13日(日)
やながわふる里桜まつり
場所やながわ希望の森公園
6種2000本をこえる桜が咲き誇ります。
問い合わせ 梁川総合支所(024)577-2222
【霊山】4月29日(火・祝日)
霊山山開き
場所 霊山県立自然公園
午前9時安全祈願祭後、それぞれにお好みのコースを選択し登山ふるさと産品即売会、先着400名様に記念バッジ進呈
問い合わせ 霊山総合支所(024)586-3102

空

編集後記

「あれが阿多羅山、あの光るのが阿武隈川。ここはあなたの生まれたふるさと。」毎年、春の光を感じると高村光太郎のこの詩が浮かびます。「ほんとうの空」が見たいと言った「智恵子の生家」は花工房から車で約50分。記念館には鮮やかな紙絵が展示されており、時折その作品に会いたく車を走らせる、お気に入り場所です。

さて、平成12年に創刊した木もれ日通信も気がつけば32号。今まではひとりつぎりの編集室でしたが、新年度からは情報発信チームを結成！新たな形で通信をお届けすることになりました。振り返ると、締め切り間際には不思議と天からの助けが。突然の取材に快く応じてくださった数々のお客様に、あらためて深く感謝申し上げます。(佳代)

ムーンセラピー
月の明かりで疲れた心を癒したい。
いままかカレンダーにチェック!!

【満月の夜】 4月20日(日)・5月20日(火)
6月19日(木)

【新月の夜】 4月6日(日)・5月5日(月)
6月4日(水)

木もれ日通信32号
読者プレゼント
応募券